

診療状況申告書

全国地域活動連絡協議会 宛

以下の申告に相違ありません。また、貴会が医療機関に対し「診療状況申告書」（以下、「申告書」といいます。）に基づき医療機関に照会された際、医療機関から回答が得られない場合には、改めて所定の「診断書」を提出します。

保険金請求額が10万円以下の場合には、「診療状況申告書」をご提出いただくことにより、「診断書」のご提出にかえることができます。
「診断書」をご提出いただく際は、「診療状況申告書」は不要ですが、以下のような場合には、「診療状況申告書」のご提出をお願いすることがあります。
(例)・2つ以上の医療機関で治療され、一部の医療機関のみ「診断書」を取得されている場合。
・「診断書」取得後に再び医療機関で治療されている場合。

		作成日		年 月 日	
ご申告者		おケガをされた方		年 月 日	
おケガをされた方 (補償の対象者)		ご申告者と同じ		生 年 月 日 性別	
				年 月 日生 男・女	
医師に診断された傷病名 (外傷名)		今後の入院・通院 治療のご予定		無・有	
おケガをされた体の部位		頭 顔 眼 歯 首 肩 胸 腹 背 腰 手 足		(左・右)腕<手指以外>・(左・右)手指 (左・右)足<足指以外>・(左・右)足指	
おケガの症		打撲 切り傷 すり傷 捻挫 じん帯損傷 骨折 脱臼 内出血 熱傷 (その他の場合)		縫合の有無 (無・有) キズの長さ cm	
ギブス等の固定具の有無		常時装着された固定具の種類 (※)		常時装着された固定具の使用期間	
有・無		ギブス・シーネ・ギブスシーネ・ギブスシャーレ 創外固定具・その他 ()		年 月 日から 年 月 日まで (使用期間: 日間)	
		ギブス・シーネ・ギブスシーネ・ギブスシャーレ 創外固定具・その他 ()		年 月 日から 年 月 日まで (使用期間: 日間)	
入院治療された期間		年 月 日から 年 月 日まで (入院期間: 日間)		通院して実際に治療を受けた日に○印をご記入ください。 *「診断書」をご提出いただいた場合には、「診断書」記載以外の、通院して実際に治療を受けた日について○印をご記入ください。	
通院治療された期間		年 月 日から 年 月 日まで (上記期間のうち実際に通院された日数: 日)		()月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 計 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 日 計	
手術等の実施の有無		手術名 () 手術日: 年 月 日 手術等の種類 開頭術・開胸術・開腹術 胸腔・腹腔ドレナージ・その他 創傷処理の場合 筋肉に達する・筋肉に達しない 筋骨関係手術の場合 靱帯・非靱帯 植皮術の場合 25cm ² 以上・25cm ² 未満		()月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 計 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 日 計	
先進医療の受療の有無		技術名 () 期間 () 年 月 日から 年 月 日まで		()月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 計 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 日 計	
診察券コピー貼り付け位置		診察券がない場合にはこの欄にご記入ください。 ※2つ以上の医療機関で治療された場合は、裏面もご利用ください。		()月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 計 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 日 計	
医療機関名:				()月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 計 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 日 計	
電話番号:		-		()月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 計 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 日 計	
所在地:		〒		()月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 計 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 日 計	
診療科名:		科		()月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 計 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 日 計	
医師名:				()月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 計 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 日 計	

【お読みください】
「申告書」のご記入に際しては、医療機関にご確認のうえ、正確なご記入をお願いいたします。特に「医師に診断された傷病名（外傷名）」欄、「ギブス等の固定具使用の有無」欄、「手術等実施の有無」「先進医療の受療の有無」欄は、ご担当の医師に十分ご確認ください。また、「申告書」のご記入内容に関して、後日当会から医療機関、ご申告者等にご照会をさせていただくことがございますので、ご了承願います。
(※)「常時装着」とは、日常生活全般において「固定具」を常に使用している状態をいい、「入浴時のみ固定具を取り外す場合」、「就寝時のみ固定具を取り外す場合」、「入浴時および就寝時のみ固定具を取り外す場合」等の状態を含みます。また、主な「固定具の種類」につきましては、裏面に説明を記載しておりますので、ご参照ください。

必ずご記入ください。

2つ以上の医療機関で治療された場合は、「診察券コピー貼り付け位置」欄の○印(表面)△・□印(裏面)に合わせて、○△□等で区別してご記入ください。

通院して実際に治療を受けた日の欄に○印で記入された医療機関について、貼り付けまたはご記入ください。

主な「固定具の種類」のご説明

固定具の種類	ご説明
ギプス	一般的には石膏ギプスをいい、速乾性の石膏を包帯等に塗布して患部の固定力を高めます。なお、最近では水硬性樹脂を含んだグラスファイバーでできたプラスチックギプスが主流となりつつあります。
シーネ	「副木・副子・添え木」のことをいいます。これらを当てた上から包帯等を巻いて患部を固定するために使用します。
ギプスシーネ	ギプスの材料で作った「副木・副子・添え木」を四肢に当てて固定するものをいいます。
ギプスシャーレ	ギプスを半分に切り、「皿」と「ふた」にしたものをいいます。処置を行うときは「ふた」を外し、それ以外の場合は「ふた」をして包帯等を巻きつけて、患部を固定します。
創外固定具	身体の外から骨に太いピンを通し、これを金属棒で連結したものをいいます。

診察券コピー貼り付け位置（2つ以上の医療機関で治療された場合にご利用ください。）

通院して実際に治療を受けた日の欄(表面)に△印でご記入された医療機関について、貼り付けまたはご記入ください。

 <診察券がない場合にはこの欄にご記入ください。>

医療機関名：
 電話番号： - -
 所在地：〒
 診療科名： 科
 医師名：

通院して実際に治療を受けた日の欄(表面)に□印でご記入された医療機関について、貼り付けまたはご記入ください。

 <診察券がない場合にはこの欄にご記入ください。>

医療機関名：
 電話番号： - -
 所在地：〒
 診療科名： 科
 医師名：

上記の欄で不足する場合には、下記の余白部分に貼り付けまたはご記入ください。